

生田緑地の自然帳 Vol.3

～生田緑地の自然情報をお届けします～

生田緑地共同事業体
(自然会議事務局)
044-933-2063

水のゆくえ ～流れてどこどこ行くの～

豊かな自然を語る上で欠かせない水。

水生生物のみならず、水は多様な生き物の生きる糧です。
水の源である雨の行く先を知り、生田緑地の水に思いをはせてみよう。

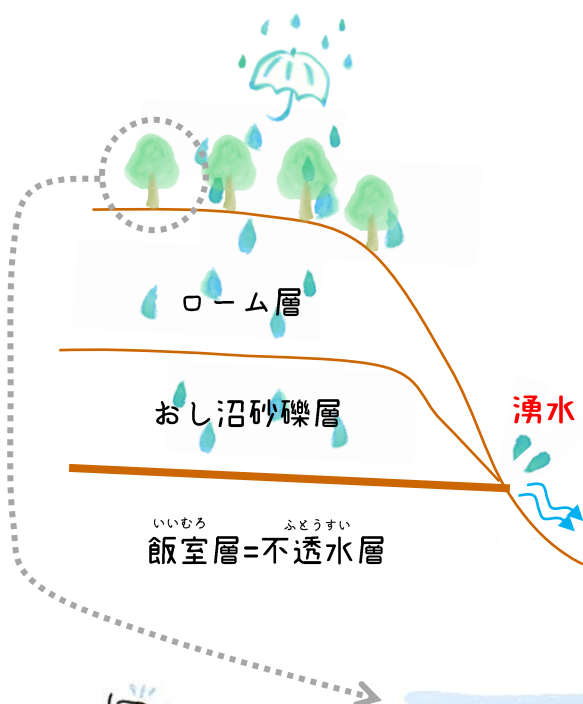


ゆうすい

湧水

とは、雨水が地下にしみ込み、土の中を流れて湧き出た地下水です。
生田緑地では、雨は関東ローム層→おし沼砂礫層を通過します。
水を通さない飯室層の表面で周囲に広がり、地上に出てきます。

【生田緑地の湧水スポット】奥の池周辺、ホテルの里周辺、どんもり谷戸等



水の温度



湧水口における湧水温は、ある場所では年間を通して12.5℃～17.2℃という調査結果が出ています。また、水流の水温は夏でも25℃を超えません。湧水口や水流は、水辺の生物にとって重要な棲息場所になっていると考えられます。

水辺の生物：ヤゴ類、ホトケドジョウなど

参考文献：生田緑地の谷戸の水溫調査（2011, 第7次川崎市自然環境調査報告）



「生田緑地の谷戸と
ホトケドジョウを守る会」
キャラクター
生田ホトケちゃん



保水の王者 ブナ



樹木の中で特に保水力が高いと言われている樹種にブナがあります。神奈川県内で分布している場所は、丹沢、箱根、小仏山地の上部（およそ標高800m以上）のみですが、生田緑地には植栽されたブナが生育しています。

右写真手前の大木のブナは、昨年多く開花・結実しましたが、今年は開花・結実を確認していません。本来の生育環境ではないため樹勢は良好とはいえませんが、見守っていきたいと思います。

葉



実



特徴：縁がへこんでいるところに葉脈が走っています。

図：神奈川県植物誌2018電子版



しょうぶえん
西口広場～菖蒲園への旅



① 西口広場の井戸

この井戸で地下水をポンプアップし、美術館の地下を通り奥の池に注ぎます。



② 奥の池

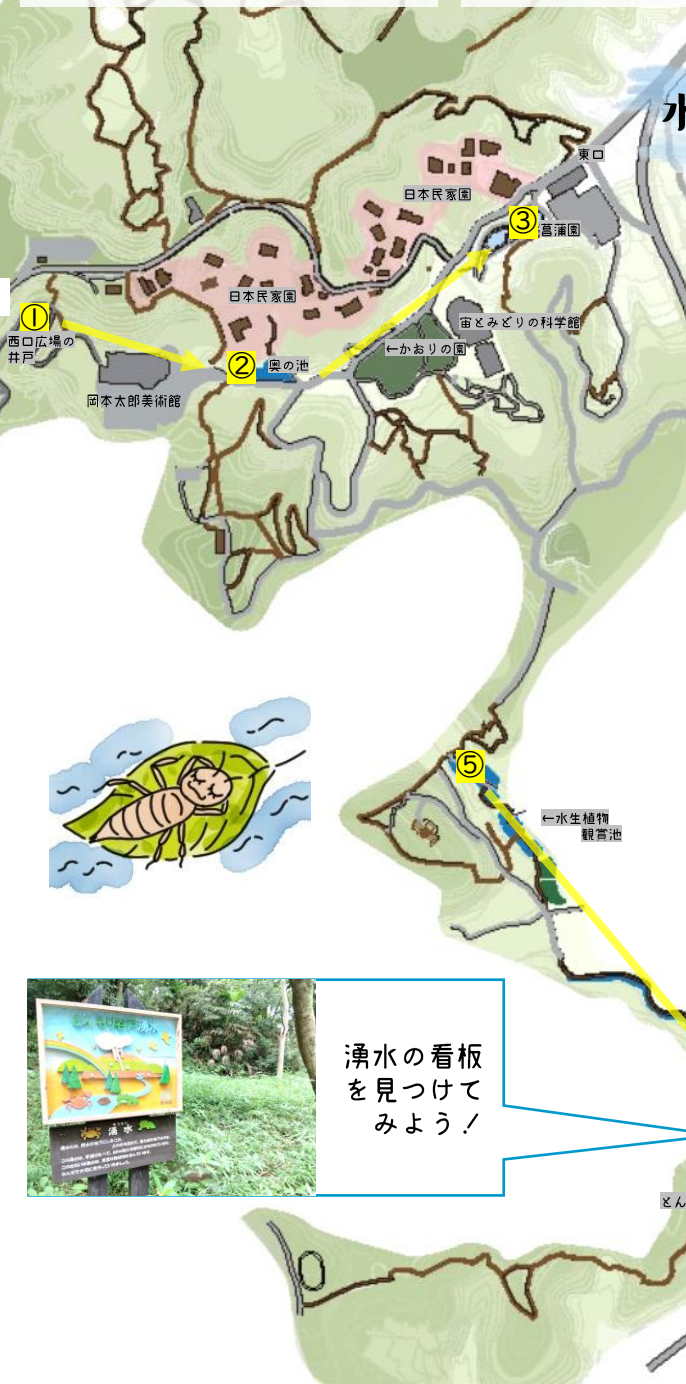
奥の池で水が流れ込む場所を発見！奥の池には、民家園側からの湧水も流れ込みます。



③ 菖蒲園

奥の池を過ぎ、かおりの園を通過した水は、菖蒲園にそそがれます。菖蒲園に水を張る際は、この水を使用します。

ひらせがわ
水生植物観賞池～平瀬川への旅



⑤ 水生植物観賞池

中央エリア南側、ここは宮前区にあたる初山エリアです。ゴルフ場からの水は、水生植物観賞池へ注がれています。



⑥ とんもり谷戸

初山の景観を創る田んぼを抜け、畑の脇を通ります。せせらぎの音が心地よくひびく絶好のスポットです。



⑦ 平瀬川

初山を出た水は、1級河川の平瀬川に注ぎ、多摩川へ。水と共に旅に出る生き物達の行く末も気になります。

湧水の看板を見つけてみよう！

